



林 声

2023

11 月号



県内のスマート林業の取り組みを紹介する「スマート林業・おかやま」。今回は、有限会社森岩木材（美作市宮本）の事例を紹介します。（㈲森岩木材は、昭和45年に先代社長が創業され、「森林・林業の再生のための一翼を担う」、「地域で愛される企業を目指す」ことを経営理念とし、森林施業から建築までをカバーする地域の林業・木材の総合企業として活躍されています。（詳細はP 2に記載）

目 次

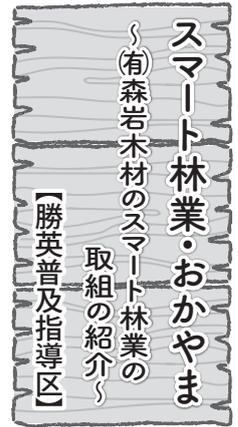
スマート林業・おかやま ～(㈲森岩木材のスマート林業の取組の紹介～ … 2	林産物市況 …………… 11
市町村の森林経営管理制度 (高梁市の取組み) …………… 3	森林・林業施設の紹介 (ALOHAごうだ歯科) …………… 14
普及指導区の情報(新見普及指導区) …………… 4	
第56回岡山県農林漁業功労者表彰 …………… 5,6	
環境学習エコツアー(森林環境学習コース) … 6	
中大規模建築物の木造化について …………… 7	
ニューフェイスです！(備中南森林組合) …… 8	
研究だより(県全域に拡散したナラ枯れと どう向き合うか) …………… 9	
技能講習等情報 …………… 10	

【ほっけ～木になる情報】

Q.ドローンを使った
森林調査ではど
んなことができます
か？
(答は13ページ)



◎岡山県マスコット「ももっち・うらっち」



一 はじめに

今年度、(有)森岩木材では、「林業経営体スマート林業支援事業」を活用し、無人航空機（ドローン）と解析ソフトを導入しました。今回、森岩社長へ、既に導入しているGNSS測量機とあわせて、今後の活用方法などについて伺いました。

二 素材生産事業の取り組み

会社では、製材業や建築業も営んでいます。約20年前から高性能林業機械の導入を進め、本格的に素材生産事業を始めました。主に、森林組合やおかやまの森整備公社から請負により間伐実施を行なっています。令和2年1月に、自社有林を中心とした森林経営計画を作成したので、直営での間伐実施も行っています。

また、美作市において森林経営管理制度の取組が進められていることなどから、森林経営計画の策定面積は徐々に拡大しています。

三 GNSS測量機の活用

委託される面積が増えるにつれ、人力（コンパス）での周囲測量には、実施量や精度ともに限界がありました。GNSS測量機の導入を決めました。GNSS測量の良いところは、誰が測ってもある程度の精度が確保でき、何より位置情報が取得できるので、森林クラウド上で位置を正確に掴むことができます。現在2台の測量機を保有しているので大面積の施行地でも短時間で周囲測量が実施できています。

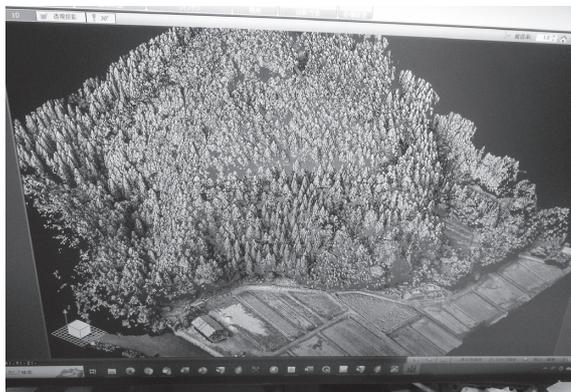


GNSS測量機による周囲測量

四 無人航空機（ドローン）の活用

委託された森林は、同じ町内とは言え、林況がわからない場合があります。そのため、山奥まで入らなくても、広範囲の林況データ

を短時間で収集することができ、作業員の負担軽減にもつながるドローンの導入を検討しました。収集した林況データを基に、解析ソフトを使って点群データや3Dモデルの作成を行い、映像で確認できるようになるので、効率性に富んだ作業計画ができるようになることを期待しています。



解析ソフトによる3D画像

更には、大雨により森林に被害があった場合なども、安全な場所から状況確認ができるのではないかと考えています。

ドローンのオペレーターは3人体制を考えています。試行錯誤しながらより効率的な活用方法を検討していきたいです。

五 今後の展開

美作市は国土調査が終了しているので、ある程度は森林の境界を確認することができますが、詳細については困難な場合があります。次第に所有者不明の森林も増加しており、管理を推進する上でも、境界確認は益々重要になっていきます。その時にGNSS測量機とドローンデータを組み合わせることによって、より正確に森林の境界が確認できるようになると考えています。

六 最後に

「スマート林業」に必須の機器の取り扱いや活用については、当普及指導区でも自己研鑽に励み、情報提供等の協力をしていきたいと考えています。

(勝英普及指導区 芦田 順子)



オペレーターを担当するお二人

市町村の森林経営管理制度

高梁市の取組み

【高梁普及指導区】



一 はじめに

高梁市は、高梁川が中央部を南北に貫流し、高梁川と成羽川、その支流に沿って帯状に曲折した低地部と傾斜部および高原部からなっています。

急峻な地形が多いため、林業の適地が限られ、民有林面積約4万2千畝のうち、人工林は僅か9千畝ほど、人工林率にして22%ほどしかなく、小規模で分散しており、団地化が難しい地域です。

また、林業従事者の高齢化や後継者不足、木材価格の長期低迷により、森林所有者の山への関心が薄れ、間伐や再造林が進まない等の問題を抱えています。

こうした中、高梁市では地域林業の活性化と森林の公益的機能の確保のため、森林経営管理制度の推進に努めています。

今回は高梁市における取組の状況と、森林環境譲与税を活用した地域課題への取組状況について紹介します。

二 意向調査の推進

市が作成した取組方針に基づき、5地区15区域に分け、順次意向調査を実施しており、令和2年度の調査開始から令和4年度までに、2地区5区域、面積にして約2千6百畝の意向調査を実施しました。

回答率が6割程度と低調ですが、回答者のうち約5割が市へ管理を委ねたいと希望しています。

市での管理を希望する森林については、順次現地調査を実施しており、調査終了箇所の集積計画の検討に着手しているところです。

また、当初予定していた意向調査の期間を年々前倒して実施するなど、調査を加速させる事としています。

三 森林環境譲与税の活用

市では、森林経営管理制度を推進するために、森林環境譲与税を活用していますが、ほかにも地域課題の解決に向け、同税を活用した各種事業に取り組んでいます。

○里山林整備事業

この事業は、森林所有者等が民家や農地、公共施設などに隣接する天然林等において、倒木等の災害を防止する目的で立木竹の伐採作業を業者に委託した際に発生す

る費用に対し補助する事業です。急峻な地形が多い高梁市では、こうした問題が多く発生するため創出した事業です。



里山林整備事業(施業後)

○高性能林業機械購入補助

市内の素材生産業者は、事業規模が決して大きくないことから、「なかなか高性能林業機械の導入に踏み切れない」との声がありました。市ではこれを受け、購入費用の一部を助成する事業を令和5年度から始めました。1事業者あたりの補助上限はありますが、複数台の導入、中古機械、アタッチメントだけの購入も可能とするなど、とても使い勝手がよい制度となっています。

他にも市では、住宅リフォーム

に対する助成や、木質バイオマス発電のための搬出助成、市内の中学校や高等学校とタイアップした高性能林業機械の体験研修等、多種多様な試みも行っています。



高性能林業機械の体験研修

四 おわりに

森林経営管理制度という大きな流れの中、一筋縄では行かない事も多々ありますが、市民の安全・安心のためには、森林の保全と林業の活性化は必要不可欠であり、市も試行錯誤を繰り返しながら、制度の推進に努めています。

高梁普及指導区としても、こうした市の取組に対し引き続き支援してまいります。

(高梁普及指導区 木村 昌生)

普及指導区の情報
**林業の成長産業化に向けた
 新見市の取組について**
 【新見普及指導区】

一 はじめに

新見地域は、県北西部に位置し、森林率約86%、その内、民有林面積に占める人工林は約54%を占め、県下の素材供給の約4割が新見地域から供給されるなど、林業を基幹とした素材生産業が盛んな地域となっています。一方、皆伐が全体の3割を超え、森林資源の枯渇が懸念され、今後の森林経営にも影響している状況です。

これらの状況を踏まえ、新見市では、豊富な森林資源を次世代に繋いで行くため、林業関係者を構成員とした「未来へつなぐ新見の林業会議」を令和4年10月末に設立していますので、その内容について紹介します。

二 林業会議について

「未来へつなぐ新見の林業会議」の設立の目的は、新見市の林業全体の活性化に必要な施策を検討し、連携した取組を推進するこ



林業会議の開催状況

とで、林業の成長産業化の実現を目指すこととしています。

林業会議の構成メンバーは国、県、市、森林組合、木材組合、素材生産者協議会、市場等の13名が選任され、会長には新見地区木材組合会長の戸川睦徳氏、副会長に同組合理事の杉光太郎氏が選任されました。また、林業会議には3部会が設置され、各部会員の意見を集約し、部会長が林業会議で報告し、今後の施策等の協議に反映させて行くこととしています。

三 各部会について

【担い手対策部会】

部会長は(有)杉産業の杉光太郎氏で16団体の部会員で構成され、重点取組の「新規林業就業者の確保」、「高梁川下流域との交流・連携」について協議を重ね、林業の普及啓発、雇用・労働環境の改善等について意見を交わしています。

【木材利用部会】

部会長は(株)南川の南川宏政氏で15団体の部会員で構成され、「建築物の木造・木質化」、「新見産材の加工・流通体制づくり」を重点取組とし、「公共建築物等の木造・木質化の推進や建築士会との交流等、新見産材の利用拡大に向けた協議を行っています。」



重点取組を協議する部会の状況

【森林整備部会】

部会長は(株)金山林業の金山正幸氏で24団体の部会員で構成され、「森林境界明確化の推進」、「森林機能の維持増進と山地災害の予防」について協議を行い、施業前の境界確認時の問題点や、災害防止の為、作業路の排水対策やその現地研修会での検討、森林整備に起因する労働災害の防止などについて意見を交換しています。

四 おわりに

各部会では、新見地域の課題解決に向けて協議を進める中で、出てきた意見をより具体的な行動を起こすこととなります。

新見地域は、素材生産は盛んですが、木材加工・利用については他の県北地域と比べて遅れているところもあり、担い手確保や森林整備と合わせて、地域材の需要拡大は重要な課題と考えています。

当普及指導区は、林業会議や各部会の委員でもあるため、毎回、熱心な意見交換が行われる新たな取組に対して、引き続き、助言・支援をしていきたいと思えます。

(新見普及指導区 岡田 和久)

第56回岡山県農林漁業 功労者表彰受賞者の紹介

林業・木材産業の振興に尽力された方々の受賞が決定しました。心からお喜び申し上げます。(敬称略)

《農林水産部長表彰

《団体指導者部門》

小椋 美博
(鏡野町)



小椋 美博氏

小椋氏は、平成28年に作州かがみの森林組合の代表理事組合長に就任され、主力事業の森林整備では、搬出間伐や路網整備を中心に取り組まれるとともに、事業の集約化を進めるため、森林所有者に働きかけて森林経営計画策定面積を拡大し、効率的な作業に取り組まれています。また、高性能林業機械の有効活用による生産性の向上や事業管理費等経費削減等に務められているほ

か、鏡野町やおかやまの森整備公社、森林整備センター等から利用間伐等の請負事業も積極的に取り組まれ、地域の森林の持つ公益的機能の維持増進に努められるとともに、毎年、当期剰余金を計上するなど、安定した黒字経営による健全な組合運営を維持され、その経営手腕が高く評価されています。

さらに、鏡野町と連携し、令和元年に森林づくりセンターを設立し、森林経営管理制度を推進する体制を構築し、森林所有者への意向調査や森林調査を支援するとともに、令和5年に開設された鏡野町貯木場整備に尽力されたほか、その運営を担いながら、地元産材の有利販売による出荷者の所得向上、地元産材の有効利用等に努められるなど、地域林業のリーダーとして森林・林業施策の推進と地域林業の振興に大きく貢献されています。

久内 昌平
(高梁市)

久内氏は、平成28年にびほく森林組合理事に就任し、令和元年からは、代表理事組合長として、地域の森林整備事業をはじめ、治山事業や森林病害虫防除事業等の森

林保全に取り組み、公益的機能の維持増進に努められています。市内の人工林資源は小規模・分散しているものの、経営基盤の強化や受託森林の拡大を通じて、小面積ながら、間伐や新植事業を計画的に毎年行うなど、一定の事業量を確保されるとともに、高性能林業機械や調査用ドローン、超音波樹高測定器等を積極的に導入し、森林の整備や管理における低コスト化、作業の効率化に努められ、西日本豪雨災害が発生した平成30年度を除き当期剰余金を計上するなど健全な組合経営を維持されています。

また、森林経営管理制度では、高梁市と連携して森林所有者への意向調査や現地調査に取り組むほか、地元中学校や高等学校の課外授業で高性能林業機械の実演、体験活動等にも協力するなど、次世代を担う若者に森林・林業の理解を深めてもらうなど、地域林業のリーダーと



久内 昌平氏

して、地域林業の振興に貢献されています。

武本 哲郎
(津山市)



武本 哲郎氏

武本氏は、平成25年に津山地区木材組合の理事に就任され、山から家までを巡るツアーや親子DIY教室を開催するなど、一般消費者への県産材の普及啓発に努められるほか、令和3年に理事長に就任された後には、同組合の事務所を木質化し、訪問される工務店や設計士に実際に触れていただきながら美作檜の普及啓発に努められています。

平成元年度より続く国産材フェアを勝英木材同業組合と共同で開催し、地域木材業界が一体となつて、優良材の生産振興や国産材の良さをPRするなど地域の林業・木材産業の振興にも尽力されています。

また、院庄林業(株)の代表取締役として、卓越した製材・乾燥技

術により、国産ヒノキ天然無垢材の製造販売に尽力されているほか、岡山県等と新たな人工乾燥機の共同開発に取り組み、特許を取得するなど、県内の人工乾燥技術や県産製材品の品質向上に貢献されています。

平成26年には、安定した原木調達のために山林事業をスタートするとともに、後に素材生産部を立ち上げ、持続可能な森林経営を推進されるなど、県下の林業・木業界の発展に寄与されています。

中塚 利信 (岡山市)

中塚氏は、平成29年に(一社)

岡山県木材組合連合会の副会長に就任し、県下の木業界の指導者としてリーダーシップを発揮し、組織運営に積極的に取り組むとともに、おかやま木材フェスティバル等で県産材のPRを行うほか、ラジオ番組の主要メンバーとして県産材を使っ



中塚 利信氏

た木造住宅の助成事業を紹介するなど、県民等への積極的な普及活動を通じて、県下の木業界の発展、県産材の需要拡大に尽力されています。

また、岡山水材協同組合の理事長として、岡山水材青年会主催のおかやま児童木工ワークショップに協賛し、小学校児童等へ県産材をPRするほか、全国植樹祭記念行事のワークショップへの資材提供などに積極的に取り組み、地域の木業界の発展に貢献されています。

さらに、(有)中塚銘木店の代表として、建築用材、とりわけ銘木の取り扱いに力を入れ、圧倒的な銘木の在庫量を活かし、建築用材や銘木について日本古来の建築様式を現代感覚に応じた提案・販売を行うほか、近隣の小学校の社会科見学に協力し、児童に木の文化への理解を深めるなど、木材団体の指導者として、また、経営者として県民への木材利用の普及啓発、木業界の発展に寄与されています。

受賞された皆様の、益々のご活躍をお祈り申し上げます。

(林政課 森林企画班)



一 はじめに

県では、環境保全意識の高揚や普及啓発を図るため、小・中学校等を対象に環境学習エコツアーを実施しています。

本ツアーでは複数のコースから希望するコースを選択することができ、令和元年度からは、おかやま森づくり県民税を活用した「森林環境学習コース」を追加し、実施しています。

二 森林環境学習コースについて

このコースは、県内の林業関連施設をバスで巡りながら、森林・林業・木材についての体験学習を行う内容になっており、今年度はA・B・Cの3コースの中から選択することができました。

Aコースは、森林の恵みや働きについて学ぶコースでした。鏡野町にある県立森林公園のブナ林等をガイドとともに散策し、自然の豊かさのほか、私たちのくらしに欠かせない森林の働きを体感してもらいました。

Bコースは、苗木生産や林業の

仕組みを学ぶコースでした。県森林研究所で植栽や間伐などの林業技術を体験するとともに、豊並樹苗生産組合でヒノキなどの苗木の生産現場を見学できました。

Cコース

は、木材の利用方法や木材の魅力



エコツアーの様子

を学ぶコースでした。木材の産地である真庭地域を巡り、丸太が柱や板になるまでの流れや、家具や食器など暮らしに身近な木製品について実際に触れて学ぶほか、木材のバイオマス発電利用についても学ぶことができました。

三 終わりに

気候変動対策・地球温暖化対策が喫緊の課題となる中、温暖化に歯止めをかける「緩和」策として、森林を守り育てることが大切です。森林や林業に触れて岡山県の森林環境に対する保全意識の醸成を図るため、今後も環境学習エコツアーを実施していくこととしています。

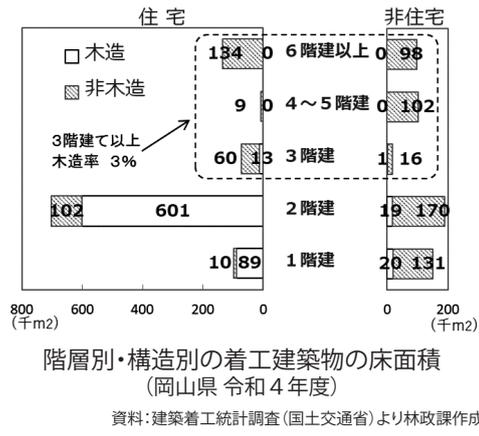
(環境文化部

新エネルギー・温暖化対策室)

中大規模建築物の 木造化について

一 はじめに

岡山県内の建築物の木造率について、建築着工床面積（令和4年度）でみると、3階建て以上の中大規模建築物では3%と低く、ほぼ非木造で占められています。



一方で、近年、CLTや木質耐火部材等に関する技術開発や実用化とともに、建築基準の合理化等により、高層建築物の木造化やあらゆるでの木材利用がしやすくなるなど、建築物において木材を利用できる環境が整いつつあります。

人口減少等により新設住宅着工戸数が長期的には減少していく可能性を踏まえると、中大規模建築物での木造化を進め、新たな木材需要を創出していくことが重要となっています。

二 木づかい提案・実証事業

県では、県産材を活用した普及性や先駆性が高い中大規模木造建築物等の整備を支援する「木づかい提案・実証事業」を令和2年度から実施しており、医療施設、学校施設、観光施設等で中大規模木造建築物が整備されています。また、当該施設では、建築士や



学校施設(倉敷市玉島八島)



医療施設(岡山市南区新保)



医療施設(倉敷市下庄)

市町村職員等を対象に、現地見学会を開催し、県産材利用促進のための普及啓発も実施されています。

三 木づかいサポート窓口

中大規模となる公共建築物等の木造化に当たっては、その計画段階から木材の利用に関する様々な検討を行う必要がありますが、県では、公共建築物等の木造化に関する技術的な相談や県産材の調達に関する相談を受ける「木づかいサポート窓口」を開設しています。窓口は、(一社)岡山県建築士会内に設置しており、木造建築物の企画・設計に関する知識と経験が豊富な専門家を派遣し、適切な技術支援を行っています。



木づかい
サポート窓口

四 おわりに

木材は、森林が吸収した炭素を貯蔵しており、木材を建築物等に利用していくことは、「都市等における第2の森林づくり」として、カーボンニュートラルの実現など地球温暖化防止への貢献が期待されています。

県では、中大規模建築物の木造化支援をはじめ、県産材の需要拡大に向けて、引き続き取組を進めてまいります。

(林政課 林業木材班)

「ニューフェイスです！」

備中南森林組合総社支所

池宗 圭太さん (37歳)

今回は、備中南森林組合総社支所の池宗圭太さんを紹介します。池宗さんは令和4年4月に採用され、現在2年目を迎える将来が期待されるニューフェイスです。



備中南森林組合総社支所 池宗 圭太さん

一 経歴

池宗さんは岡山市の出身で、大学を卒業後、玉野市にある三井造船の下請け会社で部品製造の仕事に携わっていました。この会社で十年ほど勤務した後、運送業や建

設業の仕事にも就かれていたとのことでした。

趣味はオートバイに乗ることで、休日にはオフロードのコースや山道を友人と走っており、林道を走っていた時から山のことや林業のことに、少し興味を持っていました。

現在の職業に就いたのは、ハローワークで林業関係の求人情報を見つけ、備中南森林組合に話を聞きに行ったことがきっかけで、今まで経験したことがない新しいことにチャレンジしたいと強く思っていたことから、その日のうちにこの仕事に決めたとのことでした。

備中南森林組合での勤務は、カレンダー通り（土曜日は隔週休み）に休みが取れるため、仕事と趣味の両方で充実した時間を過ごしているそうです。

二 仕事の内容

採用されてからは、毎日上司に色々な現場に連れて行ってもらう、一つ一つ仕事を教わりました。すぐに現場から事務仕事まで全ての仕事を任されるようになり、初めは何をするにも時間がかかって大変だったそうですが、今では、仕事にも慣れ、自分のペースで仕事

をこなせているとのことでした。

現在は、総社市の森林経営管理制度の業務を任せられ、山の調査から事務仕事まで一人で全部担っており、森林組合の事務所が総社市役所内にあることで、市役所との連携がスムーズに出来ていると言われていました。



ナラ枯れ防除事業

三 仕事への思い

備中南森林組合は県南部での仕事为主体であり、危険木伐倒や里山林整備、ナラ枯れ対策など、働き始める前に思っていた林業のイメージとはかなり異なっています。同じ内容の仕事でも現場ごとに違い、飽きがこないやり甲斐のある仕事で、これからも続けていきたいと言われていました。

四 上司からの一言

総社市の山が自分の考えで変わっていくので、進む方向を間違えないよう、強い思いを持って仕事をしてもらいたいとのことでした。

また、地域の山について誰よりも頼りにされている存在だということを感じて欲しいとも言われていました。



事務所での作業

五 終わりに

お話を伺っていると、池宗さんの向上心のある人柄や、上司との関係が良好に築かれていることが感じられました。池宗さんの今後の活躍に期待するとともに、当普及指導区としても応援していきたいと思えます。

(倉敷普及指導区 矢野 舞依子)

研究
だより

県全域に拡散した
ナラ枯れとどう向き合うか



一 ナラ枯れの発生状況

ナラ枯れは、平成21年度に県北部の恩原及び蒜山地域で初めて確認されて以降、被害地域は拡大し（図1）、現在ではほぼ県内全域でみられるようになりました。また、本年度の航空探査では、ナラ枯れと思われる枯損が、これまで未確認の地域で新たに確認されています。

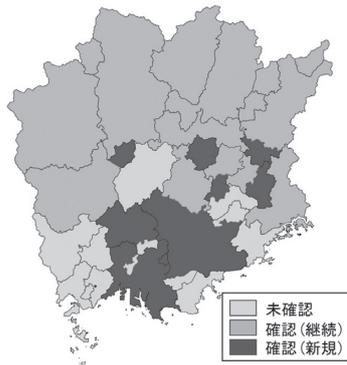


図1 ナラ枯れ発生状況(令和4年度)

一方、被害量は、令和元年度に蒜山地域全域でナラ枯れが確認されるようになった翌2年度に急激に増加し、これをピークとして減少傾向にあるものの、依然として甚大な被害が発生しています（図2）。さらに、被害地域が急速に拡

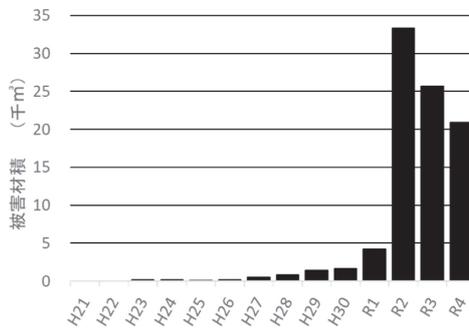


図2 ナラ枯れ被害量の推移

二 ナラ枯れの特徴

ナラ枯れは、カシノナガキケイムシ（以後、カシナガという。）が対象木に集中的に穿孔（マスマタツク）し、繁殖活動を行うことによつて発生します。被害の対象となる木は、ナラ類、カシ類、クヌギ、アベマキ、クリなど多くのブナ科の樹木で、県内各地の雑木林や神社の境内、公園などでもよく見られる樹木です。

ナラ枯れは、どちらかというと

奥山の木の病気というイメージで捉えられがちですが、今後は里山など日常生活の中でも見かけるようになることが予想されます。当然、人や自動車等の往来が頻繁な場所にある木や、天然記念物に指定されているなど地域で大切にされている木も例外ではなく、地域の象徴を失うばかりか、場合によっては、枝や幹の折損によつて通行人に危険が及ぶことも考えられます。

三 ナラ枯れ対策

現在、被害の拡散を防止・抑制するため、発生初期地では重点的な対策の実施が推進されていますが、発生初期地に該当する箇所が増加し、十分な対策が実施できていないケースも見られます。

そのような中でも、住民の安全の確保や、地域で大切にされている木の保全のための対策は必要です。これらが効果的に実施されるためには、事前に対象となる区域や木を把握し、適切な対応方針を決める必要があります。また、地域住民や公園施設等の利用者から協力が得られれば、より質の高い対策が可能になります。

例えば、真庭市蒜山地域にある塩釜の冷泉付近では、地域住民の協力を得て周辺林のナラ枯れ対策が実施されています。カシナガに

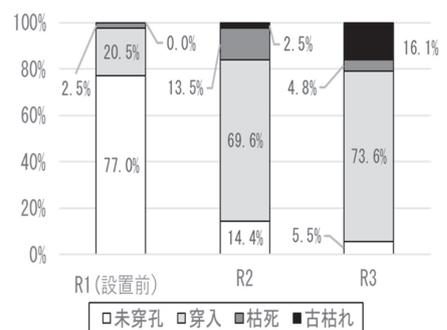


図3 塩釜の冷泉周辺林樹木の状態の変遷

四 終わりに

県全体にナラ枯れの被害地域が拡散する中で、ナラ枯れ被害対策として、労力や経費を勘案した選択と集中で、効果的に実施していく必要があります。住民の安心安全や生活環境の維持のために、各々の地域でどのような方針と対策が適切であるか、今一度検討する機会としていただければと考えます。

（林業研究室 三枝 道生）

技能講習会の開催（12月～2月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
伐木（特別教育）	岡山	1月10～12日（受付終了） 2月14～16日（受付終了）	林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL（0868）28-9518
	津山	12月20～22日（受付終了）	
刈払（安全衛生教育）	津山	1月19日	 林災防岡山県支部HP
※15名以上の受講者がある場合は、「伐木特別教育」又は「刈払機安全衛生教育」の特別開催（出張）を実施することができます。			
小型移動式クレーン運転	岡山	1月25～26日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL（086）225-3571
玉掛け	岡山	12月7～8日 1月13～14日、18～19日 2月1～2日	
	笠岡	2月19～20日	
	津山	2月28～29日	
フォークリフト運転	岡山	12月6日、16日 1月17日、2月7日、10日	
	笠岡	2月15日	



《 岡山県産材ショップ 》

営業日：平日（9:00～15:00）
第1・第3・第5土曜日（9:00～11:30）
定休日：日曜・祝日・祭日・第2第4土曜日



お問い合わせはHPまたは電話にて
受け付けております！
皆様のお越しを心よりお待ちしております。

岡山県森林組合連合会 木材センター
岡山市北区榎津485 ☎（086）284-0299





当ショップでは岡山県産材ひのきを使用した製品
やチップなど、様々な商品を取り揃えております。

— 安全・人と自然・調和 —

美林を育てる

〔林地除草剤〕ザイトロンフレノック微粒剤・ザイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース
造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕ランテクター水和剤・コニファー水和剤

〔幼齢樹保護カバー〕くわんたいⅡ 〔樹皮食い防止〕バークガード・美樹巻夫

〔樹幹注入剤〕マッケンジー・マツガード・他 〔野生草食獣侵入防止〕防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売：日植アグリ株式会社

販売元：大同商事(株)大阪営業所

TEL.086-292-5525

TEL.06-6384-1288

林 産 物 市 況



●木 材 (10月25日)

単位：千円/㎡

樹種	長さ	径 級	直材	小曲り	樹種	長さ	径 級	直材	小曲り
杉	3 m	1 4～1 6	10	～	檜	3 m	1 4～1 6	25	20
		1 8～2 0	10	～			1 8～2 0	21	20
		2 2～2 8	10	～			2 2上	20.5	19
	4 m	1 8～2 2	10	—		4 m	1 6～1 8	22	20
		2 4～2 8	10.5	9.5			2 0～2 2	19	18
		—	—	—			2 4～2 8	21	20
					6 m	1 6	—	—	
						1 8～2 0	—	—	
(共販所より概況)					・出荷材積 約1,300m ³				
【3m】 柱 材 横這い 中目材 横這い					【3m】柱 材 横這い 中目材 横這い 元 木 横這い				
【4m】 中目材 横這い 元 木 横這い					【4m】柱 材 横這い 中目材 やや弱含み 元 木 横這い				

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値

●製 材 (10月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安 値 ～ 高 値 (円 / ㎡)	備 考
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	75,000～80,000	
	正角 3 m 12cm角	特等	K	75,000～80,000	
ヒ ノ キ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	～85,000	
	正角 3 m 12cm角	特等	K	～80,000	
	正角 4 m 10.5cm角	特等	K	～85,000	
	正角 4 m 12cm角	特等	K	～80,000	
マ ッ	平角 4 m 10.5～12cm ×15～18cm	一等	K	～95,000	
米 マ ッ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	80,000～	
	平角 3 m、4 m 10.5cm ×15～21cm	特等	K	100,000～	
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	K	100,000～	
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm×10.5cm	特等	K	80,000～	

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。
注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。



CT-500C

・GP-532
小型ハイパワープロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



PECKER PRO

shindaiwa®

E20385R/400TVP

高性能林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255

<https://mitsuyoshi.com/>



林業機械

中古林業機械 売ります！買います！



林業機械

HITACHI Logisnext
日立建設機械
油圧ショベル

STIHL
三菱ロジスネクスト
フォークリフト

各種林業アタッチメント
KEEPA NANSEI
IWAFUJI MOROOKA
チェーンソー

各種機械のレンタル・修理も承ります！



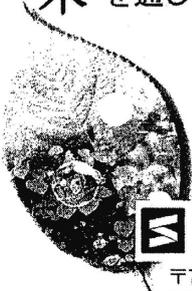
富士岡山運搬機株式会社



林業機械

本社	岡山県津山市津山口111-1	TEL : 0868-24-3211
新見	岡山県新見市石蟹267-9	TEL : 0867-76-9077
岡山	岡山県岡山市中区江崎84-1	TEL : 086-277-5100
鳥取	鳥取県鳥取市南栄町33-15	TEL : 0857-50-1985

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

おかやまの木で家づくり支援事業

助成金額：最大24万円/戸
助成対象者：

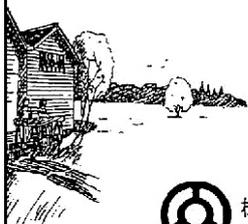
- ①県内で認証材を4㎡以上使用して新築する住宅(450戸程度)
- ② " " " " 民間非住宅(50件程度)
- ③ " " 2㎡以上使用して改修する住宅(被災住宅)

詳細はこちら ↓
<http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>



一般社団法人 岡山県木材組合連合会

〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 (岡山県木材会館内)
TEL (086) 231-6677 FAX (086) 232-7549



緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

ほっけー木になる情報

Q.ドローンを使った森林調査ではどんなことができますか？

A.ドローンには、様々な種類があり、用途に応じて使い分ける必要があります。一般的に調査用として最も普及している小型のカメラ付きのドローンでは、上空から森林の状況の観察や撮影に活用します。例えば、森林病害虫の調査では、被害の状況把握が広範囲で行え、踏査を行うよりも格段に効率的になります。また、撮影した画像を整理、保存しておくことで、森林の経時変化の記録にも役立ちます。

撮影した画像をオルソ化するソフトウェアがあれば、GISに取り込んで森林の画像情報を正しい位置に落とし込んで管理することができます。GIS上では、簡単な距離計測や面積測定も可能です。小面積の調査であれば、衛星写真や航空機による空撮画像よりも高画質な画像を作成することができるため、林相や目印となる地上物を参照して境界管理

を行う一助になります。

また、オルソ化処理の際に生成されるDSM（表面モデル）を活用すれば、目に見える範囲の地表面の情報や林冠の状態を解析することも可能です。



さらに、

公開されているDEM（数値標高モデル）と組み合わせれば、林地災害の前後の様子と比較や、三次元データから土量計算や断面図の作成なども行えます。林冠表面モデルは、立木密度や林分材積など、おおよその林分状況の解析にも活用できます。当研究所では、ドローン空撮を使用した林分調査の手法や精度に関する研究を行っています。

ドローンの活用に当たっては、航空法等の各種関係法令を遵守することはもちろん、飛行訓練を重ねて操作や運用に習熟することが、安全性と調査効率の向上には欠かせません。

（森林研究所 林業研究室）

事務局からのお知らせ

◎林声9月号の誤記のお詫び

平素より当情報誌のご愛読ありがとうございます。

先日お送りしました林声9月号のP3「生き活き！林務の現場 赤磐市農林課」において内容と異なる写真を掲載してしまいました。訂正をさせていただきますとともに、関係者及び読者の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

今後とも変わらぬご愛読を賜りましたら幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。

岡山県林政課

(正)



赤磐市鳥獣被害防止対策協議会の開催



「緑の募金」ご協力をお願いします

緑の募金で進めようSDGs（持続可能な開発目標）

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込はこちらへ

ゆうちょ銀行 00230-3-144752
※窓口では手数料がすべて免除となります
中国銀行岡山駅前支店 普通1852041
トマト銀行岡山駅前支店 普通1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

林声

森林・林業施設の紹介

「ALOHAごうだ歯科」

岡山市南区新保に、令和5年2月、木造軸組工法による医療法人歯っぴー ALOHAごうだ歯科が完成しました。

建築物本体及び内外装におかやま森づくり県民税を活用した木づかい提案・実証事業が活用されており、全体木材使用量約80立方メートルの内、県産材を約40立方メートル（全て県産森林認証材）使用された延べ床面積約473平方メートルの2階建てです。

可視部分である2階待合・テラスの上部横架材及び天井・軒裏部羽目板に県産材をあらわしで使用しており、来院される患者の方に視覚、香りなどを実際に体感して頂いております。

令和5年7月26日に開催した「令和5年度備前地域木材需要拡大推進会議（幹事会）」では、院長先生のご厚意により見学会を実施し、岡山県建築士会東備支部長の安田年一氏が講師となって説明をしました。管内市町、地区木材組合や建築士会等で構成される幹事会の参加者は、県産材を使用した

歯科医院の構造及び規模の説明を関心深く聞いており、今後の県産材を使用した建築物の普及が期待されます。



待合室



歯科医院外観

令和五年十一月一日（第四九二号）
（隔月一日発行）

編集発行 岡山県森林組合連合会内 岡山県森林業改良普及協会
〒701-1202 岡山市北区檜津四九一―一

（岡山普及指導区）

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約3千4百万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと 27,444円（5年間計）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと 43,325円（5年間計）

1ヶ月あたり
約460円

わずかおむすび
4個分

1ヶ月あたり
約720円

わずかラーメン
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

認定番号 K0809236